

地区	地区で取り組んでいること	現在の課題	来年度取り組みたいこと
入舟	<ul style="list-style-type: none"> 「赤ちゃんお誕生おめでとう！！」祝う会(民生委員児童委員)平成27年度から実施。来年度も実施予定。来年度は町内会、自治会にも協力してもらう予定。 ふれあいウォーキング(コミュニティ協議会)年1回実施。今後も実施予定。 お互いさまランチ(コミュニティ協議会)2か月に1回実施。今後も実施予定。 敬老会(コミュニティ協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 現在地域の茶の間をあまり実施していない(入舟地区で1か所)。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間の実施(場所としては、雲雀町の雲雀荘、窪田町かもめ保育園跡等)。
栄	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配布(地区社会福祉協議会)。 地域のお茶の間(社協からの助成金なし)(自治町内会)。 お互いさまくらぶ活動の実施(コミュニティ協議会)。 緊急医療情報キットの配布(地区社会福祉協議会)。 地域のお茶の間(社協からの助成金なし)(自治町内会)。 お互いさまくらぶ活動の実施(コミュニティ協議会)。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配布について、高齢化が進んでおり、再交付の必要がある。 住人の動向がわかりづらくなっている(例:家族葬の増加)。 現在日和山小学校(旧栄小学校)が工事中で、三世代交流を実施する場所の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家等を利用した地域の茶の間開催の検討。 社会福祉協議会の助成金を利用できる町内活動があるので、社会福祉協議会の活動をPRしながら助成金の利用を促進したい。 平成29年4月から、日和山小学校が利用可能になり、校舎内にコミュニティ協議会が使用できるスペースが確保できる。スペースの活用によりさらに地域の絆を深める。
湊	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配付 敬老祝い金を出している。 ゴミステーションノートにより、住民同士のコミュニケーションを図っている。・災害時の要支援を各自治会で行っている。一人住まいの調査を実施。・歌声、山歩き、マイクロバスの旅、もちつき大会等々の実施。・認知症研修会の実施。 入学祝金、卒業祝金の配付 地域の茶の間作りの準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化。子どもの減少。 自治町内会等の役員の成り手がいない。役員の固定化。若返りを目指した人材の発掘。 ゴミ出しを間違えることが多い。 近隣同士のつきあいが少ない。 医療機関や商店が少ない。 要支援者を知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者の見守りに関する研修会の開催。 行政や社会福祉協議会の助成金制度の活用(例:ゴミ出しに関するもの)。 地域の茶の間を実施していきたい。 防犯、防災に関する行事の企画、開催。 防火のため、自治町内会の各班に消火器の設置。 友愛訪問や歳末たすけあい事業(社会福祉協議会の助成金活用)や敬老会の継続実施。
豊照	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配布(地区社会福祉協議会)。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間を実施したいが、人、場所の確保が難しい。 緊急時の避難支援に関して、要援護者の救護に役立つ簡易タンカが必要。 地区内の安心安全のためのパトロールについて、ワンワンパトロールは該当者があまり思いつかない。希望者がいないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配布の継続(民生委員を通じて)。 地域の茶の間の実施。 ※旧豊照小学校に入った福祉作業所「つばさ」の一区画を利用地区内や、地区内の集会所を利用できれば。 災害時の避難ルート案を住民に周知する(教育相談センター・旧二葉中グラウンド)。
新潟	<ul style="list-style-type: none"> 敬老祝い金を出している(自治町内会)。 ゴミステーションに使う専用の札を次の担当者へ渡すことを通じて、自治会内の住民のコミュニケーションを図っている(自治町内会)。 古町の演芸場を利用した「歌を歌う会」を開き、町内会の方が集っている(自治町内会)。 新潟地区健幸サロンクラブ(コミュニティ協議会)。 スポーツレクリエーション(コミュニティ協議会)。 	<ul style="list-style-type: none"> 独居高齢者の連絡方法(緊急時)を考える必要あり。 高齢者の方が交流する場作りが必要あり。 地域の茶の間に出てこない(出てくることができない)人をどうやって見守っていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方と地域住民が交流できる場作り。 独居高齢者の連絡方法(緊急時)を考える(例:緊急医療情報キットの導入)。
礎	<ul style="list-style-type: none"> 住民みんなが集まって草取りや防災の講話(自治町内会)。 クロスパルの敷地に集合してラジオ体操(礎地区全域)。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちが地域活動に参加しない。 マンション等集合住宅の住人の把握が難しい。 高齢者等が歩きやすい歩道や街灯の整備(安全で安心して暮らせるまち)。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の助成金を積極的に活用し、自治町内会で社会福祉協議会のPRをする。 イベントや集まりがある時は、住民全員に声をかけるようにして、住民同士のコミュニケーションを図っていく。
大畑	<ul style="list-style-type: none"> 地区社会福祉協議会の平成27年度総会資料を地区内の全自治会に配付し、説明した(地区社会福祉協議会の活動が浸透するように)。 災害時の要支援をそれぞれ実施。 新潟地区健幸サロンクラブ(コミュニティ協議会)。 友愛訪問事業利用者が年々増加している。 声かけ(民児協)、交通安全推進(春と秋実施)、スポーツ振興会(盆踊り)、花見、ボーリング大会、子どもみこし(山手青年会)、おやじクラブ。 スポーツレクリエーション(コミュニティ協議会)。 緊急医療情報キットの配付。 敬老会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動の充実。 春、秋の交通安全推進活動を実施する際に着用するジャンパー(セーフティスタッフに代わるもの)。→平成28年秋より実施済み 見守り活動のより一層の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画助成事業」に取り組んでいく。 ※大畑地区活性化事業ボーリング・花見・新潟まつりの子どもみこしを対象に、顔が見える関係づくりのために「地域福祉活動計画助成」に取り組む

地区	地区で取り組んでいること	現在の課題	来年度取り組みたいこと
鏡淵	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間を各町内会で実施。 ⇒コミュニティ協議会単位まで発展(横のつながり)。 (目的):見知らぬ人と面識ができる。 福祉協力員26名(白山浦2丁目町内会) 県立中央高校ダンス公演・ダンス部コーラス部ジョイント公演 三世代新春文化フェスティバル 三世代交流大運動会 ふれあいお茶会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間の参加者が少ない。 参加してほしい人がどうしたら参加できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各町内で取り組んでいる地域の茶の間を水平展開(コミ協単位)。 地域の茶の間に参加してほしい人(要支援者)が参加できるように (1)足の悪い人はタクシーを呼ぶ (2)お茶以外の興味をプラスする(芸人・ゲーム) (3)回覧だけではなく、直接声をかける (ゴミ捨て場等での会話)
白山	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいお茶の間の開催(7月・11月・3月) 緊急医療キットの配付(7月～9月) 敬老祝会(9月15日) 友愛訪問活動 友愛訪問反省会 	<ul style="list-style-type: none"> 町内活動は、年寄りが主体になっている。 マンション世帯が多いため、各世帯間のつながりが薄くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業に若い人たちが主導するような活動に移行していきたい。 青年部の組織化。 マンション自治会との連携。
浜浦	<ul style="list-style-type: none"> 地域の宝として、環境保全を行っている(海岸線、公園、防風林)。 2年ごとに世代間交流を実施。参加者250人強/回。 16自治会、10～600世帯。自治会規模の違いあり。 複数自治会での共同事業を行う検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員の後継者(リーダー)育成に課題。 ⇒団塊世代参画に苦慮。 ⇒自治会だけではなく、コミ協等、他の仕事役割が多すぎて大変。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の改正に伴い、コミ協を中心に勉強会を開催したい。
関屋	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キット配付 携帯用安心カード(65歳以上)配付 こんにちは赤ちゃん訪問 地域の茶の間 歳末たすけあい事業 敬老祝い会 防災訓練 なかよし運動会 天神様のお祭の見守り(5月25・26日、9月25・26日) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進んでいる。 自主防災組織の不完全がある。 自治・町内会長の短期交代がある。 自治会によって、集合住宅が多くなっている。 空き家が目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要支援者名簿を把握する(自治・町内会、民生委員)。 お茶の間事業を始める(新設2か所予定)。 緊急医療情報キットを全戸配布する。
有明台	<p>【地域の茶の間】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなの茶の間いきいきクラブ(個人宅) 弥生有明大橋町町内会(コミ協事務所) <p>【世代交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み親子地引網(地区社協・8月) 夕涼み会(堀割町町内会・8月) 町内夏のお楽しみ会(関屋大川前一区自治会・8月) 町内納涼のつどい(弥生有明大橋町町内会・8月) ふれあい会(関屋大川前市営住宅自治会・9月) 敬老祝会(関屋大川前三区町内会、堀割町町内会) サントピアワールド交流会(堀割町町内会・10月) 歳末ふれあいお楽しみ会(地区社協・12月) 町内アイススケート(関屋大川前一区自治会・3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 役員の高齢化が進み、少しでも役員の若返りを図りたい。 役員の数が少ない。 災害時の避難場所の設営について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会に若者(小・中・高校生の保護者)を招き、町内運営について、話し合い種々お手伝いを願う。 避難所の設営訓練を行う。 災害時要援護者の搬送などに協力する人(サポーター)を集めたい。

地区	地区で取り組んでいること	現在の課題	来年度取り組みたいこと
南万代	<ul style="list-style-type: none"> ・南万代ふれあい健幸クラブ ・民生委員による訪問活動(月1回75歳以上希望者) ・地域の茶の間(自治会) ・盆踊り(自治会) ・敬老祝会(自治会) ・日帰り旅行(自治会) ・子どもを集めて、新年会(自治会) ・広報(自治会、コミ協)活動 ・災害時対応は担当を決めて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の高齢化 ・アパート在住単身世帯と連携 ・町内会費を納めない(オーナーに相談してもダメ) ・マンション在住者は、積極性のある人もいる ・助けあい、見守りあいできる仲間づくり ・単独町内では行事等が行えない ・植花で、小学生の参加が少なくなっている(駅前親和会) ・高齢者が多く、災害時どう動くか ⇒専門学生に協力を求められないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代掘り起しの何かを計画(見まわり隊等) ・自治会活動の紹介 ・具体的活動実態の広報⇒総会以外で会員に活動を知ってもらう。 ・自治会内の多くの意見要望の収集 ・複数自治会連携によるイベント等の企画⇒関心度をあげる。 ・自治会へのコミ協加入促進 ・元気クラブを継続(天神尾連自治会)
万代	<ul style="list-style-type: none"> ・組織作りに注力(宮浦) ・弥彦岩室日帰り親睦旅行(三和) ・朱鷺メッセ万代美術鑑賞会と食事会(三和) ・花火大会(東万代) ・地域の茶の間、参加者約25人/回(天明) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足(若い人) ・空き家調査結果22軒、所有者探し大変(天明) ・プライバシー問題で緊急連絡先の情報提供を拒否される。 ・アパートの住民には声掛けできない。家主からも教えてもらえない。 ・除雪の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員と班長の対話 ・高齢者の声掛け、地域の茶の間の勧誘
長嶺	<p>【世代交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流会(10月・蒲原神社) ・夏休BBQ大会、日帰り温泉旅行(蒲原町内会) ・敬老祝会 ・歳末たすけあい事業 <p>【地域の茶の間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲荷さまサロン(自治会) ・雪割草(自治会) ・長嶺サロンたんぽぽ(公民館) ・料理教室(公民館) ・チューリップ(コミ協会議室) <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気で往生びんぴんころりん ・安心安全活力のあるまちづくり ・地域活動の担い手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協活動の中でも、自治・町内会単位でやっていかなければならないと思う部分もある。 ・見守り隊について、自治・町内会単位で班の編成の改革。 ・役員のなり手がいない。 ・ごみ出し支援に問題(ある町内ではごみの取り合い)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動は自治・町内会の班で取り組む。 ・一人に仕事を集中させない。(民生委員を中心に、自治・町内会長でやっていく) ・コミ協居場所づくりの充実 ・認知症予防
沼垂・本馬越	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の健康ウォーキング(沼垂健幸会) ・包括支援センターによる血圧測定・体組成測定 ・車イス利用者を含めた防災訓練 ・沼垂なじらね寄席(お笑い寄席) ・3世代交流イベント(さくら祭り・なじらねフェスタ) ・3世代ふれあいまちつき大会(芳原1丁目町内会) ・敬老会 ・集会所等を利用した同好会的な仲間づくり(囲碁・将棋・カラオケ・民謡等) ・沼垂まつり(献額灯籠押し合い) ・馬越まつり(民謡大会(子どもの部・大人の部)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居世帯の増加 ・エリアが広く、町内会長も毎年交代するなど組織活動の充実には時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の行事を踏まえ、更にふれあい活動を充実させたい ・人材育成、世代交代(スムーズな役員の選出) ・新規事業にも積極的に取り組む ・敬老会の参加者増の工夫 ・空き家対策

地区	地区で取り組んでいること	現在の課題	来年度取り組みたいこと
鳥屋野	<ul style="list-style-type: none"> 鳥屋野小学校PTAと地域関係が良く、「とやのふれあい祭り」、「防災訓練」と多くの人参加して、コミュニケーション作りに効果大。 バーベキュー大会 カラオケサークル ゴルフコンペ 麻雀サークル アルコール会 パッチワーク 輪投げ大会(高齢者・子ども) 老人クラブ ラジオ体操 貯筋運動 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安全に遊べる場所がない。 子どもの通学時の見守り人不足。 参加者がどんなサークルも同じ顔ぶれである。 男性参加者が少ない。 敬老会など開催すると施設が狭く、参加年齢制限を引き上げざるを得ない。 夏祭りを行いたいのが、適当な場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「とやのふれあい祭り」の更なる活性化。(参加者2,000人超え) 高齢者と幼児・児童との世代間交流イベントを活発に開催したい。 地域の茶の間の多世代交流化。 おとなり自治会合同で事業をやりたい。 高齢者だけで楽しく交流できる行事を企画したい。 防災訓練参加者を増やしたい(特に高齢者)。
上山	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間 敬老祝会・祝金 日帰り旅行 納涼会 忘年会 ごみステーション設置のお礼 	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事の参加者減少 場所づくり(空き家) 世話役、自治会役員の後継者不足 事業内容の周知(繰り返し) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間の開設(現在2か所) 敬老祝会の開催(現在3) ふれあい事業の開催(現在5) 子ども会との連携と活性化 自治会館の確保(借り上げも検討) ごみステーションの整備(ネットからボックスへ)
女池	<p>【コミ協】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4ブロックに分けて避難訓練(指定避難所4校) 春秋野球大会 <p>【各自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ出し支援 地域の茶の間 お楽しみ会 夏休み子ども会 ラジオ体操 親睦旅行 映画鑑賞 敬老会・祝金 ボーリング大会 	<ul style="list-style-type: none"> 担い手がいらない 地域に小学生が1名、高齢者世帯が大半 出会いの場・集会所・活動拠点がない(趣味・サークルなど集いの場) 高齢者(特に男性)が外へ出ない、引きこもり対応 自治会と民生委員とのコミュニケーション不足(情報共有ができていない) 老人クラブの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の発掘 福祉協力員の養成 隣接地域と一緒に子どもの行事を行う 活動場所・気軽に集える場所づくり(コミ協域3~4か所必要) 空き家、福祉施設、会館、その他公共施設 趣味の拡充(人材をつなげる) 老人クラブの充実
上所	<ul style="list-style-type: none"> 緊急医療情報キットの配布(民協と共同実施) 防犯パトロール(役員と子どもたち) 世帯票づくり 一斉清掃 避難訓練⇒親睦芋煮会を実施 敬老祝会 空地进行した畑づくり、収穫祭の開催 貯筋運動の開催 班会議(近隣喫茶店) 節分豆まき 盆踊り大会 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化により、下水道清掃や街路樹薬剤散布を民間委託をせざるを得ない。 若手人材不足(いても参加する人が少ない) 高齢化により自治会財務の悪化(敬老祝金等増、自治会費納入困難) 空き家対策(防犯・防火) 高齢者のごみ出し(分別・排出) 高齢者のひとり暮らしの見守り(孤独死) 	<ul style="list-style-type: none"> 班会議の開催回数(年1→2回) 体操教室の継続、参加者増加に向けた取り組み 地域の茶の間の継続・拡充 防災フェスタの継続 世帯票の作成 助成金の活用

平成27年度 地域座談会(地域福祉活動計画について) 意見集約表

みなみ

資料4

平成28年3月 中央区社会福祉協議会幹事(自治・町内会長)研修会

地区	地区で取り組んでいること	現在の課題	来年度取り組みたいこと
笹口	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとハウス地域の茶の間(月1回) ・日帰り旅行 ・新年会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の声掛けができていないケースが多い。 ・自治会の役員が交代するので継続ができない。引継ぎがうまくいかない。 ・地域の茶の間口コミ等も含めて、声掛けが足りない。 ・マンション自治会とコミ協のコミュニケーション不足。(コミ協に未加入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し支援事業(ひとり暮らし)実施 ・ひとり暮らし高齢者と町内役員とのコミュニケーションを図る機械を設け、悩み等聞き出す。
紫竹山	<ul style="list-style-type: none"> ・駅南地域の茶の間(民協主導) ・駅南コミュニティセンターがあり、各団体の有効活用 ・夏祭り(8月・紫竹山自治会)150名子どもが参加 ・日帰り旅行 ・新入生歓迎会 ・六送会・記念品贈呈 ・敬老祝会・祝金 	<ul style="list-style-type: none"> ・世話役の成り手がいない ・婦人部、女性の参加が少ない ・男性ひとり暮らしの不参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会で行っていた敬老祝会をコミ協で行う(コミセンを利用)
山潟	<ul style="list-style-type: none"> ・山潟お互いさまネットワーク ・クリーン作戦 ・栗の木川の草取り(環境整備)顔合せ ・古紙回収 <p>(山ニツ新興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り、子どもみこし祭り、運動会、防災訓練 <p>(長潟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり、カラオケ大会、もたぐり郷土行事 <p>(姥ヶ山)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんど焼き <p>(京王)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり、地引網 <p>(北谷内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同好会(ゴルフ、よろず会)が活発 <p>(弁天橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー、年代別パン食い、夏まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員・スタッフの成り手がいない。(役員交代のときに労力を使いすぎる、輪番制でも) ・日赤社費、社協会費のとりまとめが大変。 ・拠点施設がない。山潟会館にしても駐車場が狭い。 ・連絡所等行政サービスの場所がない。(南出張所、本庁に行かないとできない) ・町内会に入りたがらない人がいる。 ・古紙回収の場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ見守り隊の設置と活動 ・子ども見守り隊への冬期間には防寒具を貸与するなど、スタッフジャンパーに加えて整備していきたい。 ・役員の選出方法を考える。(役員選考委員器の規約整備) ・防災倉庫の設置 ・交通体系を弁天線の縦軸に整備されてきているが、横軸の検討が必要。 ・山ニツ排水路の整備の目途が立つよう取り組んでいきたい。